



おびにしわくわく通信

NO.75

2022.08.29

文責: 荒木

いよいよ2学期のスタートです!

38日間の夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。この夏休み期間中に全国的に、新型コロナウイルス感染が急拡大してしまい、熊本県においても感染者数が最多を記録するなど、一向に収束の気配が見えない日々が続きました。そのような中、「元気に過ごしているかな」と子供たちのことが心配でしたが、始業日に元気に登校してきた姿を見て安心しました。子供たちも先生や友達に久しぶりに会えてとてもうれしそうでした。

さて、2学期は1年間の中で最も期間が長い学期です。本来なら多くの行事等を通して、様々な経験を積むことができる学期です。しかし、引き続きコロナ禍における感染対策を考慮しながらの学校・学年行事となります。ただこれからは、ウィズ・コロナと発想を少しばかり転換し、「できない」ではなく、「どうしたらできるのか」という考えも必要だと思っています。そして、できることに落ち着いてじっくりと取り組んでいくことを心がけ、工夫しながら子供たちにしっかり力を付けていけるように、教職員一同頑張っけてまいりますので、保護者の皆様には、2学期も本校の教育活動についてご理解・ご支援を賜りますように、どうぞよろしくお願い申し上げます。



～2学期校長講話より～



2学期を迎えるにあたり、子供たちには「帯西レンジャーをもっと活躍させる2学期に!」という話をしました。そこで、そのための3つのレベルの話をしました。

レベル1: めあて(行動目標)を立てよう!

例えば左下のようなめあてがあるとしますが、これはあまり具体的とは言えません。

学習面: 漢字をがんばる
生活面: 早寝・早起きをする



学習面: 漢字を一日30字書き取る。
生活面: 夜9時半には寝て、朝6時半に起きる

そこで、右上のようなめあてにすることで、具体的で行動しやすいものとなります。また、振り返ったときに、目標達成していたらより高い目標に設定し、目標を達成できなかったら、少しハードルを下げて再設定することができます。

めあての設定には「時間・回数・場所・相手・実現可能か」などの視点を入れることで行動し易いばかりか、振り返り易くなるので、ご家庭でも是非お試しください。

レベル2: 自分や友達がどんな心で動いているのか考えよう!

2学期はもっと、「4つの心」を意識して行動します。自他の行動を「4つの心」というフィルターを通して認め合うことで、成長の実感を味わうことに繋がるでしょう。

レベル3: 学級・学校で自分は何ができるのか考えよう!

学校や先生が皆さんのために何かしてくれるのを待つのではなく、学校の主体の皆さんが「学校のために何ができるか」という発想をもってほしいということです。学校では日々の学習・当番・係・委員会活動…などたくさんのやるべきことが満載です。そこで、全校児童がそれぞれ「自分に何ができるか」を考えて行動したら、あっという間に学校は変わると思います。

2学期も帯西レンジャーと子供たちが共に活躍し、「わくわく」する学校に近づけていきたいと思ます。